

## 事故防止啓発パンフレットの完成！！

事故防止啓発パンフレットを2種類作成しました。

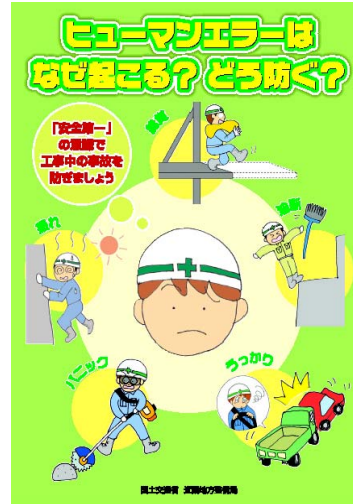
ライフライン（架空線・地下埋設物）の事故とヒューマンエラーによる事故です。

安全教育等の資料として活用し、事故防止に努めて下さい。



【頭上にも、地下にも大切なライフラインがあります】

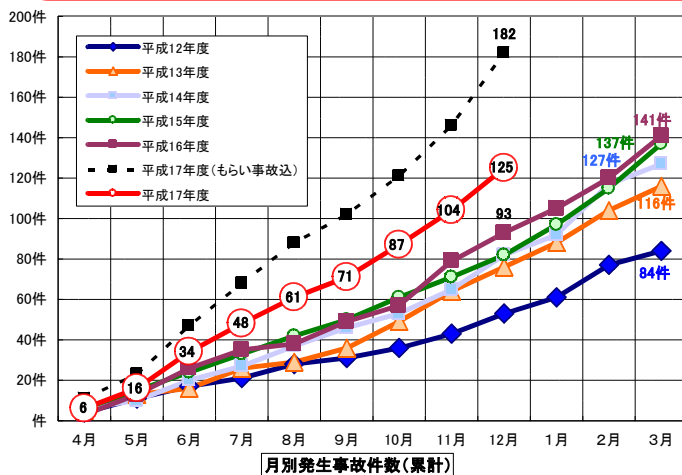
架空物件や地下埋設物件に損傷を与えた場合、それに伴う事故措置や復旧費用について、記載しています。  
事故を防ぐ為の工事前、工事中に守ることをイラストで説明しています。



【ヒューマンエラーはなぜ起こる？ どう防ぐ？】

ヒューマンエラーによる事故や、防止対策等をイラストや写真で説明しています。  
ヒューマンエラー要因別の構成比や、それに関するグラフも掲載しています。

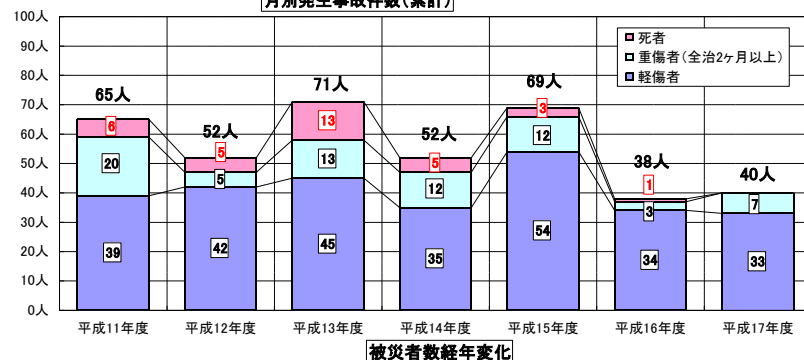
## 12月末現在の事故発生件数は125件！！過去最悪！！



左上グラフでは、12月末現在、事故発生件数は125件（速報値）で、もらい事故を併せると182件です。

近年、最も多かった昨年度の発生件数（93件）を大きく上回って、約1.3倍の発生件数となっています。

もらい事故は、12月末現在で57件で、昨年度の発生件数51件（12月末）を若干上回っています。

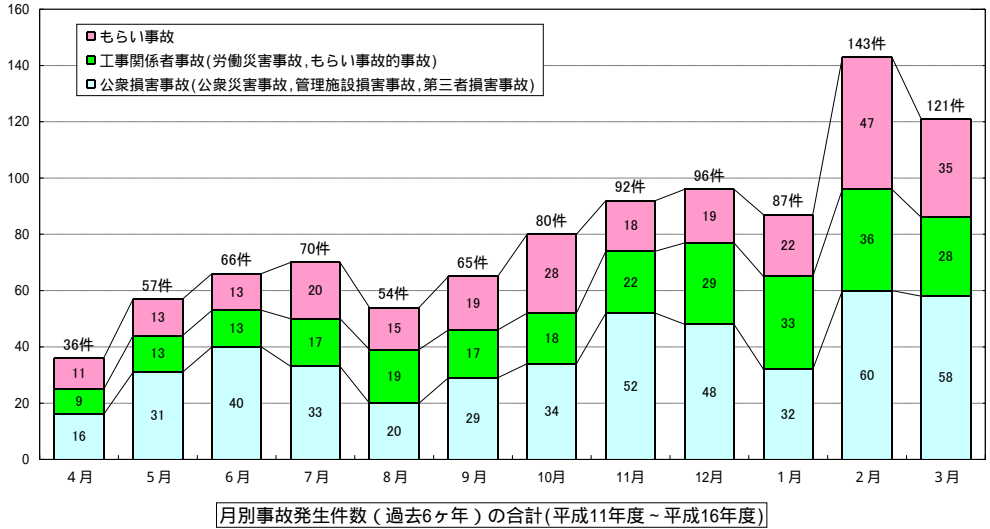


左下グラフでは、12月末現在、もらい事故を含まない被災者数は40人（速報値）で、昨年度の被災者数（38人）を若干上回っています。

死亡者はいませんが、重傷者については、昨年度の約2倍を超えています。各事務所におきましては、安全点検の強化や啓発活動の徹底など、より一層の安全対策を図り、0（ゼロ）災害の推進に努めましょう。

# 年度末に向けて 目指せ!! 0 災!!

## 年度末（1月～3月）は、事故の多発期間！！



過去6ヶ年の特徴は、年度末（1月～3月）に事故が多発しており、特に2月から3月にかけて、事故が突出して多く発生しています。下記の【事故防止対策(案)】を参考にして、事故防止に努めて下さい。

### [ 注意喚起 ]

年度末は工期終了が迫り、現場が慌ただしくなり、また、寒さが厳しくなる時期でもあることから、作業員の注意力が散漫になりがちです。

### [ 事故防止対策(案) ]

作業開始前にKY活動や事前打合せをしっかりと行って下さい。  
常に危険意識を持つ様に、注意・指導等について復唱することも効果的です。  
現場巡視を強化し、施設改善に努めて下さい。  
各現場では安全管理を一層強化・徹底し、作業員全員が気を引き締めて作業を行うよう教育・指導を強化し、年度末に向けて無事故を目指して下さい。



### 12月の事故発生報告(36件発生の内、4件を掲載)及び今後の防止対策(案)

発生日時	発生場所	事故の状況(速報)	今後の防止対策(案)
12月5日 3:00	福井県	トンネル工事において、現場を仮囲いしていたフェンス(鋼板: H=3.0m)が、強風に煽られて延長約8.0m程度にわたって道路側に傾き、道路を通行していた一般車(10tトラック)に接触した。 〔物損: 一般車(10tトラック) 左側 フロントガラス サイドミラー 損傷〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検を強化し、不適切な箇所を発見した際には、速やかに是正する。</li> <li>支柱は強固な物を使用し、根入れを深くする。</li> </ul>
12月9日 9:30	大阪府	集積場改良工事において、路床整正の後、土砂の置換作業を行うため、バックホウで土砂の鋤取り作業を行っていたところ、バックホウが埋設されていた水道管に接触した。 〔物損: 水道管20mm～25mm 破損〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査を徹底する。</li> <li>埋設物の位置を明確にする。</li> <li>従事する作業員へ公衆災害防止に係る教育・指導等を徹底する。</li> </ul>
12月16日 15:00	兵庫県	電線共同溝工事において、クレーン機能付きバックホウで仮設簡易鋼矢板の撤去作業を行っていたところ、バックホウのアームが上空の架空線に接触し、切断した。 〔物損: 電話引込線(未使用) 切断〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>架空線明示等の措置を徹底する。</li> <li>現場状況によって、監視員を配置する。</li> <li>従事する作業員へ公衆災害防止に係る教育・指導等を徹底する。</li> </ul>
12月28日 10:40	奈良県	高架橋床版工事において、足場解体作業を行おうと高所作業車を設置し、作業箇所に向けてアームを伸ばしたところ、アウトリガーの敷き板が外れ、高所作業車がバランスを崩したためアームが振れ、高所作業車のデッキに乗っていた作業員が約10m下に墜落した。 〔作業員: 負傷 全治不明〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>アウトリガーの養生は敷き鉄板で行う。</li> <li>アウトリガーの中心と敷き鉄板の中心をなるべく近づけて設置する。</li> <li>高所作業の際には、安全帯の使用を徹底させる。</li> </ul>